

# 平成30年度滋賀県「学校を核とした地域力強化」第1回研修会 兼 コミュニティ・スクール連絡協議会 開催報告

- 1. 目的** 県内で実施される「学校を核とした地域力強化プラン」に係る市町の事業担当者や地域コーディネーターを対象に、事業の趣旨や運営上の留意点などを説明することにより、事業の円滑な実施を図る。さらに地域学校協働活動推進キーパーソンとなる地域学校協働活動推進員の役割や委嘱について文部科学省職員から説明を受け、普及に繋げる。

コミュニティ・スクール連絡協議会では、県内全域において市町の連絡体制の構築や情報の共有を推進するとともに、設置の拡大や運営の充実にに向けた方策について研究する。

- 2. 主催** 滋賀県教育委員会

- 3. 対象** (1) 「学校を核とした地域力強化プラン」事業実施市町担当者  
(2) 各市町コミュニティ・スクール担当者  
(3) 上記事業の未実施市町における参加希望者  
(4) 各市町生涯学習・社会教育担当者  
(5) 各市町学校教育担当者  
(6) 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）等

- 4. 日時** 平成30年5月18日（金）13:30～16:45

- 5. 日程**

- 文部科学省事業説明

文部科学省生涯学習政策局社会教育課地域学校協働推進室係長 山下 邦子 氏

- 行政説明

- 講演 演題：「CSを創る・・・これからの学校・地域・行政のあり方を考える」

講師：高木 和久 氏

（文部科学省コミュニティ・スクール推進員、滋賀県CSアドバイザー、「学校を核とした地域力強化プラン」県推進協議会委員）

- 滋賀県コミュニティ・スクール連絡協議会および情報交換会

- 6. 場所** 滋賀県庁東館7階大会議室

- 7. 参加者数** 53名

- 8. 概要**

- ・文部科学省事業説明では、社会教育課係長より、「地域と学校の連携・協働の推進について」と題して、法改正を踏まえた地域と学校の連携・協働のあり方、地域学校協働活動推進員の配置促進、国による財政的支援（学校を核とした地域力強化プラン）、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの連携について説明を受けた。
- ・講演では、講師が校長であった当時に立ち上げた、本県におけるコミュニティ・スクールの先駆けともいえる取組の紹介から始まり、「地域がCS実施に向けて準備したいこと」や「行政のCS推進に向けた体制づくりや取組のシステム整備」について、その手順や留意点等について簡潔に説明された。
- ・コミュニティ・スクール連絡協議会では、CSアドバイザーの紹介とアドバイザー派遣の説明を行い、市町の情報交換会を実施した。

- 9. 参加者のアンケートより**

- 国としての方向性やこれまでとの変更点等がよくわかった。法改正やそれに伴う取組のポイントを町内で伝達するが、わかりやすくまとめていただいた。社会教育課、校長、教頭など関係者にしっかり説明していきたい。
- 高木先生に根幹に関わることをお話しいただき、CS導入に向けて一人悩んでいたところが晴れた気持ちになった。実感を伴う話には力があり、もっと多くの方に聞いてもらいたいと思った。
- 「どんな子どもを育てたいか」について学校、地域が熟議することの必要性、ボランティアの主体性、子どもの主体性、どこまで任せるか等々、考えさせられる点が多々あった。
- 実際に学校現場で苦労されていることや大切にされていることを聞かせていただき、大変参考になった。教員とは違う視点で学校や子どもに関わっていただくことで、学校が変わることがよくわかった。学校と地域が「協働で取り組む」とはどういうことか考え直していきたい。

